

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束をしないケアの実践において身体拘束をしないケアに取り組み実践しているが、玄関の施錠については、ご利用者様の危険回避の観点や職員数の不足から日中の施錠時間が長い。	日中玄関の施錠を、なるべくしない方向での取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常に玄関に行かれるご利用者様がおられる為、見守りを怠らない。</li> <li>・玄関センサー音に注意する。</li> </ul>	6 ヶ月
2	20	昨年よりのコロナ渦において、面会ができなかったり、家族・馴染みの方との接触が無くなり、認知の症状が進まれるご利用者様が見受けられる。	少しずつ面会の制限が緩和されてきている為、事業所側から情報を発信し、家族や馴染みの方の来所を声掛けする。(コロナの状況を踏まえての対応となる。)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月発送するお手紙にご利用者様の様子を記し現状を理解いただき、面会に来ていただくよう促す。</li> <li>・面会に来られた方に対しては、声掛けし質問等あれば対応する。</li> </ul>	6 ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。